

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	その他サービス 〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・今月は葬儀依頼が多く、近隣市町村からも依頼がある。また、遺品整理の依頼も多い。
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・暑い日が続いて、とにかく冷たい物が売れていることが、売上に貢献している。学校が夏休みになり、来客数がやや増えているのも大変良いことである。
	○	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・学生の夏休みが始まり、来客数が増えている。自宅でパリオリンピックを観戦しながら飲食するためか、酒や中食向けの売上が好調である。
	○	高級レストラン（経営者）	販売量の動き	・会議、接待、食事会等の需要が増えてきている。
	○	スナック（経営者）	来客数の動き	・入出は回復してきており、宴会も増えている。コロナ禍で閉めた空き店舗に新しいテナントが入り、営業を始めた店が増えている。客は分散しているものの、全体としてはかなり良くなっている。
	○	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・現在、当旅館の看板である露天風呂が改装工事中で使用できないにもかかわらず、例年の85%程度の売上がある。想定以上に人が動いている。
	○	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	来客数の動き	・団体予約が戻ってきている。今月後半は夏休みに入るが、子供の予約も以前のように戻り始めている。
	□	商店街（代表者）	販売量の動き	・今月は特に変わりはない。
	□	商店街（代表者）	販売量の動き	・猛暑のなか、客は例年より来店しているが、買上点数等から財布のひもの固さがみられる。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・猛暑の影響でエアコンの受注は増えている。しかし、必要に迫られての購入では、景気の良さあしへの影響は小さい。
	□	スーパー（経営者）	来客数の動き	・梅雨明けが遅れ、盛り上がり欠けている。来客数や買上点数は安定しているものの、より手頃な価格の商材へのシフトがみられる。
	□	スーパー（経営者）	それ以外	・前年比では売上は1%減少、来客数は6%減少となっている。7月に予定した売上を31日朝の時点で上げられていない。夏祭り向けの生産を今日中に仕上げれば、前年比もう少し良くなるかというところである。外販部門は前年9月から忙しかったが、店頭販売は下がっている。
	□	スーパー（店長）	お客様の様子	・買上点数は横ばいか下向きで、単価は上昇している。セール品や夜間の値引き商材への関心の高まりがみられるが、極端な買い控え等はみられない。
	□	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・近隣で工事がある等、要因はいろいろあるものの、今月は猛暑日も多く、来客数が増えている。ただし、飲料のみの購入も多く、客単価としては下がっている。
	□	家電量販店（店長）	販売量の動き	・前年に当市で補助金施策があったからか、今年は季節商材の動きが遅れている。
	□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車検台数は目標をクリアし、一般整備はこの異常な暑さのため、在庫台数が多くなっている。新車の車両販売に関しては、ディーラーが客の希望車種の契約を中断しており、なかなか話の折りが付かない。
	□	その他専門店〔酒〕（店長）	お客様の様子	・販売量の動きは横ばいではなく伸びている。ただし、客の様子からみると、スタグフレーション的な部分もみえてきている。相変わらず、人気のある商材は伸びて売上も堅調だが、かなりの部分は物価上昇分に使っているのではないかと。
	□	スナック（経営者）	お客様の様子	・サラリーマンの客は、景気が良くないと話している。我々も同様である。
□	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・景気動向は3か月前と変わらない。旅行需要の増加傾向は継続している。個人客や団体旅行の活発な動きは継続している。	

	□	タクシー運転手	販売量の動き	・今月も僅かではあるが、何とか前年比100%をクリアしそうだが、まだまだである。
	□	通信会社（社員）	販売量の動き	・問合せ件数等、全体的な流れは前月までと大きくは変わらない。イベントへの参加やボーナス商戦等のきっかけ作りをうまく利用していきたい。
	□	観光名所（職員）	それ以外	・来客数や売上は、おおむね好調ではあるものの、費用の高騰が著しく、それに伴って運賃や商品価格を簡単に上げるわけにもいかないため、悩ましい。
	□	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・別荘に関する問合せや現地見学数が、前年同期と比べて大幅に増加している。
	▲	百貨店（経理担当）	競争相手の様子	・4月に当店から2キロメートル圏内に開業したターミナル駅の商業施設の影響が、競合する食品を中心に起っている。
	▲	コンビニ（店長）	お客様の様子	・気温がかなり高く推移した日と、若干下がった日もあったが、高温で推移した日でも、なかなかそれに応じた商材が出ない状況がある。全体的には大きく下がっていないが、やや厳しい。
	▲	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・供給不足はほぼ解消したが、原材料価格の高騰に伴う新車価格の上昇が足かせとなり、新規受注台数の動きが鈍っている。
	▲	自動車備品販売店（従業員）	来客数の動き	・今月は来客数、客単価共に前年割れで、物価高のなか、最低限の消費に抑えているようである。
	▲	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・前月から個人客の利用が落ち込んでいたが、今月も継続している。週末やランチタイムの来客数はさほど変化はないものの、平日のディナータイムの来客数が大きく落ち込んでいる。逆に、旅行者については、以前よりも平日や夏休み前の利用が増加している。
	▲	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・3か月前の4月は、北陸応援割があり、恩恵を受けていたため、7月の個人の販売量は若干落ちている。レストランの来客数や宿泊客数も4月より落ちている。
	▲	遊園地（職員）	来客数の動き	・土日に雨天となることが多く、一部アトラクションの運休等で、利用人員が落ち着いてしまっている。
	▲	ゴルフ場（副支配人）	来客数の動き	・暑すぎるのが原因なのか、予約の伸びが悪い。また、プレー料金への反応も、今まで以上にシビアになっている。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・月初めの七夕祭りの人出は例年どおりだったが、ほとんどが買物客ではなく屋台目当ての客で、祭りが終われば、再び無人の街に戻っている。猛暑が一段と人出を減らしている。
	×	スーパー（副店長）	来客数の動き	・週末の売上が、ここ数か月連続して落ちている。必要な物だけを買うという客の買い方を強く実感している。
企業 動向 関連	◎	*	*	*
(甲信越)	○	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・季節要因も多少あるとみているが、受注状況は順調に推移している。
	□	食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・平年より猛暑が続いているが、来場者数、売上共に、何とか前年並みに推移している。
	□	電気機械器具製造業（従業員）	取引先の様子	・仕入価格は値上がりしているが、なかなか思うようには売れないため、販売価格は据え置いているとのことで、やはり景気はそれほど回復していないのかと考えている。
	□	金融業（調査担当）	取引先の様子	・製造業は大企業の景況感が改善したものの、中小製造業は電子部品デバイスで在庫調整が継続し、厳しい状況にある。非製造業は宿泊や旅客等の観光関連の需要が堅調だが、製造業関連の機械器具卸や貨物では、設備投資や輸出関連の受注が低調となっている。
	□	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・企業業績は好調だが、実質賃金はマイナスの状況で、個人消費が伸び悩んでいる。
	▲	食料品製造業（製造担当）	それ以外	・商材に関する値上げが止まらなくなっている。特に原材料関係は利益を圧迫しており、値上げをしてもきりがなく会社の経営状態が良くならない。
	▲	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・夏場のワークショップ予約等に期待感があったが、予約数は伸びていない。新製品の反応も予想外に低迷している。

	▲	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・注文はあるものの、全体的に減少傾向にある。部材の入荷遅延は、以前ほどひどくない。
	▲	その他製造業 [宝石・貴金属]（経営者）	受注量や販売量の動き	・小売店を回ってみたが、6～7月と商況は厳しい。材料価格の高騰でジュエリー価格が急激に上昇したことから、顧客、特に、若い層のジュエリー離れが進んでいる。
	×	*	*	*
雇用 関連	◎	—	—	—
(甲信越)	○	—	—	—
	□	人材派遣会社 (営業担当)	求職者数の動き	・時給のみで判断する求職者が多く、採用されたもののうまくいかずに再び求職活動する者がいる。企業側でもスキル等も含めて判断を慎重にすべきである。
	□	求人情報製作会社 (総務担当)	求人数の動き	・別段、実感することがない。
	□	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・引き続き、インバウンドや国内旅行、大人数での宴会や会議の回復、イベントの復活等により、観光や宿泊、飲食、交通輸送業等は順調に推移している。しかし、猛暑の影響やエネルギー価格、諸物価の上昇、賃上げの浸透状況を勘案すると、景気が上向いているとは言い難い。
	□	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・円安のデメリットが、企業のマインドを押し下げている。
	▲	職業安定所（職員）	求人数の動き	・大幅な動きではないものの、事業主都合による離職が増える動きもある。
	×	—	—	—